

No.	210-160	事務事業名	空港周辺地域環境整備事業				所属部	溝辺総合支所
							所属課	地域振興課
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				課長名	岩切 正信
	施策名	0 2	生活環境の向上				所属G(係)	地域振興G
	基本事業名	0 1	環境衛生の向上				電話番号	59-3111
予算科目	会計	款	項	目	事業	法令根拠	鹿児島空港周辺地域環境整備基金条例 鹿児島空港周辺地域環境整備事業空調和機器設置費補助金交付要綱	
	一般	0 2	0 1	0 9	18040			空港周辺地域環境整備事業
	一般	0 2	0 1	0 9	18045			住宅騒音防止対策事業

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
空港周辺の航空機騒音に対する住民への生活環境対策として、騒音により閉めきることが多くなる室内の空気をきれいにするためのクーラー設置に対する補助、騒音によって聞きづらくなるテレビに対してNHKの受信料を補助している。 クーラーについては既に対象地域の全世帯に設置されており、現在は設置後10年を経過したクーラーの故障により、新たに買い換える方の申請に基づき、修理不可能判定、完成検査を行い設置費用を補助。テレビ受信料補助については、毎年対象地域の世帯を調査し、申請を受け付けてNHK受信料の支払実績を検査し補助している。財源である基金については県の補助金が含まれており、事業については県へ提出した補助事業計画に基づき実施している。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 5年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 空調和機器機能回復補助(クーラー更新)8台(補助率95%) テレビ受信料補助344件(カラー契約2,820円)		名称 ア 空調和機器機能回復台数 台 イ テレビ受信料補助件数 件 ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 空調和機器機能回復対象台数 台 イ 基金事業対象区域の世帯 世帯 ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 基金事業対象区域の世帯 <補助金交付先>基金事業対象区域の世帯 <補助対象活動>空調和機器機能回復、テレビ受信料補助の経費		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 空調和機器機能回復台数 台 イ テレビ受信料補助件数 件 ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 生活環境を向上させる。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 苦情相談対応に対する満足度 % イ ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 生活環境に関する問題が解決できる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	1,937	2,796	1,993	4,910		
	一般財源	千円				1,872			
	事業費計(A)	千円	1,937	2,796	1,993	6,782			
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2		
		延べ業務時間	時間						
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)		千円							
活動指標		ア 台	8	14	8	22			
		イ 件	316	319	344	320			
		ウ							
対象指標		ア 台	486	575	553	531			
		イ 世帯	825	837	825	840			
		ウ							
成果指標		ア 台	8	14	8	18			
		イ 件	316	319	344	320			
		ウ							
上位成果指標		ア %	79.5	74.6	78.3	84.0			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成4年に鹿児島空港の運用時間が20時30分から21時30分まで延長されることとなり、周辺住民においては更に航空機の騒音被害に悩まされることから、生活環境被害対策として県と旧溝辺町、旧隼人町が出資して基金を創設、創設当時の基金事業計画を基に事業を実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
航空機の機能が高まり、騒音は多少低くなったとされているが、離着陸時における騒音は依然激しく、天候の影響や航空経路によっては会話もできないほどの騒音に悩まされている。基金創設当初は利息(果実)で運用できる見込みであったが、金利の低下によって利息積立金より取り崩しが大幅に上回っている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
基金事業については幅広い活用を要望する意見がある一方、事業を永續させるために初期の事業計画に基づき実施し、また増資(積立)を求める声がある。テレビ受信料助成については領収書の提出など申請が面倒であるとの意見がある。	

事務事業名	空港周辺地域環境整備事業	所属部	溝辺総合支所	所属課	地域振興課
-------	--------------	-----	--------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘	<input type="checkbox"/> 連携できる ↘	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	航空機騒音対策、空港周辺環境整備として実施されているが、対象住民の感情緩和対策として意味合いもある。今後も継続して実施していくことが望ましい。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							

No.	210-170	事務事業名	空港周辺地域住宅騒音防止対策事業				所属部	企画部
							所属課	企画政策課
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				課長名	川村 直人
	施策名	0 2	生活環境の向上				所属G(係)	企画政策G
	基本事業名	0 1	環境衛生の向上				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律	
	一般	0 2	0 1	0 9	18045	住宅騒音防止対策事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
空港周辺の航空機騒音に対する住民への生活環境対策として騒音によって閉め切ることが多くなる室内の空気をきれいにするための空調機設置に対する補助。 昭和48年度から住宅騒音防止対策事業として年次的に設置された空調機(国が定める第1種区域内に昭和57年3月30日までに建った住宅)について設置後10年以上経過し、その機能を失った機器について取替え、また取替えして10年以上経過し、その機能を失った機器について取替えを行うものです。 住民から要望があった件数を国へ申請する。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 48 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 故障がないか設置世帯へ確認 国への予算要求等 故障世帯より助成申込 故障判定(業者委託) 設置工事(業者) 補助金支払 国への実績報告 空調機 台実施 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度同様 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 国の定める一種区域内で、空調機設置した住宅で引き続き居住している住民 <補助金交付先> 機能回復実施住民 <補助対象活動> 機能回復補助事業実施世帯 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 生活環境を向上させる。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 生活環境に関する問題が解決できる。		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 空気調和機器機能回復台数</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 空気調和機器設置世帯数</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 空気調和機器機能回復台数</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 苦情相談対応に対する満足度</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	ア 空気調和機器機能回復台数	台	イ		ウ		対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 空気調和機器設置世帯数	世帯	イ		ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 空気調和機器機能回復台数	台	イ		ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 苦情相談対応に対する満足度	%	イ		ウ	
名称	単位																																								
ア 空気調和機器機能回復台数	台																																								
イ																																									
ウ																																									
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 空気調和機器設置世帯数	世帯																																								
イ																																									
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 空気調和機器機能回復台数	台																																								
イ																																									
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 苦情相談対応に対する満足度	%																																								
イ																																									
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円	650	2,369	1,021	3,563	
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	43	799	76	267	
		一般財源	千円	150	231	327	1,528	
	事業費計(A)	千円	843	3,399	1,424	5,358		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	843	3,399	1,424	5,358		
活動指標	ア	台	7	26	13	33		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	世帯	237	237	237	237		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	台	7	26	13	33		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%	80	75	82	84		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 昭和47年に鹿児島空港が溝辺・隼人地区にできたことにより行われる国の騒音対策事業	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 当初は、空調機の設置事業。現在は10年以上経過をした更新や更新して10年経過の再更新の事業となっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	航空機騒音対策事業として行われている国の事業であり、今後も法律に基づき実施していく。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下								
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持																												
低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																													

No.	210-180	事務事業名	地域環境整備交付金事務事業				所属部	溝辺総合支所
							所属課	地域振興課
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				課長名	岩切 正信
	施策名	0 2	生活環境の向上				所属G(係)	地域振興グループ
	基本事業名	0 1	環境衛生の向上				電話番号	59-3111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 2	0 1	0 9	18090	企画調整費		
							霧島市溝辺町地域環境整備事業基金条例	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間	
競輪場外車券発売場(サテライトみぞべ)設置に伴い、開設にかかる協定書に基づき、競輪競技開催自治体から交付される環境整備交付金を雑入で受け入れ、地元環境対策費として周辺の2地区自治公民館に環境整備費を交付する。 協定締結 レース毎の売上等実績報告受理 四半期毎に環境整備交付金受け入れ(実績確認・請求) 地元2地区自治公民館へ環境整備交付金交付 霧島市への交付金(2千万円までは売上金の0.75%、2千万円を超える部分は1%)		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 16 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 地域環境整備交付金の交付 瀬竹地区自治公民館 200,000円 下有川切門地区自治公民館 150,000円 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年と同様		名称 単位 ア 開催日数 日 イ 来場者車両台数 台 ウ 環境交付金総額 円	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 地区自治公民館 <補助金交付先>2地区自治公民館 <補助対象活動>地区公民館運営に関する経費		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 ア 対象地区自治公民館 館 イ 対象地区人口 人 ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 生活環境を向上させる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 環境活動を行った地区自治公民館数 館 イ ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 生活環境に関する問題が解決できる。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 生活環境が維持又は改善されていると感じる地域住民の割合 % イ ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	350	350	350	350		
	一般財源	千円							
	事業費計(A)	千円	350	350	350	350			
活動指標		ア 日	308	309	329	329			
		イ 台	186,572	180,313	181,865	181,865			
		ウ 円	37,084,792	32,682,808	26,966,752	26,966,752			
対象指標		ア 館	2	2	2	2			
		イ 人	426	414	410	405			
		ウ							
成果指標		ア 館	2	2	2	2			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア %	72.3	74.4	76.5	78.6			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
競輪場外車券発売場設置が計画され、開設に伴い対象地域の交通防犯、ゴミ投棄等の環境悪化が懸念されたことから、競技主催自治体から交付される地元環境交付金の一部を、発売場周辺地域の地区自治公民館に対する環境整備交付金として平成16年度から交付することとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
開設より2年目までは計画時の見込みより大幅に入場者と環境交付金が上回った。 現在は県内に同様の施設が開設されたためか、利用者数、交付金ともに減少傾向にある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
環境交付金の交付だけでなく、交通防犯対策等に対して、施行者(武雄市)・設置者(株式会社九州みぞべ興産)・霧島市との連絡調整と積極的な対策を要望されている。	

事務事業名	地域環境整備交付金事務事業	所属部	溝辺総合支所	所属課	地域振興課
-------	---------------	-----	--------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 競輪場外車券発売場の開設に伴い対象地域の交通防犯、ゴミ投棄等の環境悪化が懸念され、地域の環境整備を図ることを目的として地元へ交付されているため、市の政策体系に結びつく。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 対象地域の環境整備を図ることから、市が関与する妥当性がある。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象は限定・追加する余地はないと考えられる。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 対象地区が2地区公民館だけであるため向上余地はない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 地元の地区自治公民館は交付金を環境対策費として活用している。廃止・休止した場合はそのような対策も取れなくなり、本来の目的からも逸する。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 競輪場外車券発売場が溝辺地区にしかないため、類似事業との統廃合は考えられない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費の削減は可能と考えられるが、地元住民の相当の理解が必要と考えられる。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 担当職員は兼務で最低限の業務時間にとどめている。臨時職員による対応や委託もできると考えられる。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 交付金については、地元環境対策費ということで交付されているので一部の地区(住民)に偏ってはいるが不公平ではない。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地域の環境整備を図ることはもちろんのこと、感情緩和対策としてこの交付金が交付されている実情もある。今後も継続して実施していくことが望ましい。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	210-200	事務事業名	空港周辺地域テレビ受信障害防止対策事業				所属部	企画部
							所属課	企画政策課
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				課長名	川村 直人
	施策名	0 2	生活環境の向上				所属G(係)	企画政策G
	基本事業名	0 1	環境衛生の向上				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	航空機騒音障害対策費補助金交付要綱(国土交通省)
	一般	0 2	0 1	0 9	18050	テレビ受信障害防止対策事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
空港周辺の航空機騒音に対する住民への生活環境対策として騒音によってききずらくなるテレビに対してNHKの受信料を1/2補助している。 国が定める第1種区域内(W値75以上)で日本放送協会と放送受信契約を締結しNHK受信料の支払いをした世帯住民に対し補助を財団法人空港環境整備協会が行う。 市は、実績に基づき空港環境整備協会へ補助金を支払う。(国95% 市5%)							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 48 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 空港環境整備協会からの実績に基づき空港環境整備協会へ支払い(国95%、市5%) 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 20年度と同様 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 国が定める第1種区域内に居住する住民で、日本放送協会と放送受信契約を締結し(平成21年3月31日以前に締結したものに限り)、放送受信料を支払った者であって、同日から引き続き当該地域内に居住している者 < 補助金交付先 > (財)空港環境整備協会 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 生活環境を向上させる。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 生活環境に関する問題が解決できる。		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア テレビ受信料補助世帯</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 第1種区域内世帯</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア テレビ受信料補助世帯</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 苦情相談対応に対する満足度</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	ア テレビ受信料補助世帯	世帯	イ		ウ		対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 第1種区域内世帯	世帯	イ		ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア テレビ受信料補助世帯	世帯	イ		ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 苦情相談対応に対する満足度	%	イ		ウ	
名称	単位																																								
ア テレビ受信料補助世帯	世帯																																								
イ																																									
ウ																																									
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 第1種区域内世帯	世帯																																								
イ																																									
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア テレビ受信料補助世帯	世帯																																								
イ																																									
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 苦情相談対応に対する満足度	%																																								
イ																																									
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投資量	事業費	財源内訳	千円	1,472	1,457	1,387	1,567	
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	38	80	77	83	
	事業費計(A)	千円	1,510	1,537	1,464	1,650		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,510	1,537	1,464	1,650		
活動指標	ア	世帯	291	291	277	262		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	世帯	291	291	277	262		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	世帯	257	266	261	262		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%	80	75	82	84		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
国の航空機騒音防止対策事業であり、国の補助要綱により実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
国の助成対象区域が平成16年度から変更となり、助成対象区域が狭まった為、対象住民の減となっている。 国の補助要綱が平成21年度から変更となり、平成21年3月31日以前から居住、NHK受信契約をしている世帯となった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 生活環境を向上させることにより、生活環境に関する問題が解決することに結びつく。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 航空機騒音障害対策事業として、この事業を本市とする責務がある。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? <対象>国が定める第1種区域内に居住する住民で日本放送協会と放送受信契約を締結した者 <意図>生活環境を向上させる。 航空機騒音障害対策費補助金要綱で定められた対象者で行われており適切である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 国が定めた第1種区域内に居住し、日本放送協会と契約し、放送受信料を支払った者に補助金を交付しているため市の対応での向上余地はない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 国の補助事業であり市が廃止・休止を検討すべき事業ではない。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 国の補助事業であり統廃合・連携を検討すべき事業ではない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 国の補助事業であり削減を検討すべき事業ではない。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) (財)空港環境整備協会への補助金交付、国への補助申請と主に経理的事務のみである。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 国で決められた事業であり、市で変更することはできない。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	航空機騒音対策事業として行われている国の事業であり、今後も国の要綱に基づき実施していく。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			▲																				
	低下	▲	▲	▲																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	320-090	事務事業名	簡易給水施設水質検査支援事業				所属部	生活環境部
							所属課	環境衛生課
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				課長名	今村 政憲
	施策名	0 2	生活環境の向上				所属G(係)	環境保全グループ
	基本事業名	0 1	環境衛生の向上				電話番号	
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 4	0 2	0 1	66090	環境衛生総務費		
							霧島市簡易給水補助金交付要綱	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
水道法が適用されない井戸等の簡易給水施設の水質検査について、補助金を交付することにより、飲料水の衛生状況を確保するとともに、住民の飲料水に関する衛生意識の向上を図る。 具体的には、あらかじめ登録を行った施設管理者に対して検査日時の通知を行った後、本庁及び各総合支所窓口において容器の配布及び回収を行う。水質検査業者に当該容器を渡し、検査結果を各管理者へ通知、補助金を交付する。補助金交付額は検査料金の半額である。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (19 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 広報誌掲載、施設管理者登録、水質検査、補助金交付 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 20年度と同じ 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 霧島市内にある簡易給水施設を管理する者。 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 簡易給水施設の水質が明らかとなる。飲用に不適である場合は、施設管理者が自ら、保健所又は専門の検査機関に相談し改善されることにより、良好な衛生状況が確保される。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 生活環境に関する問題が解決できる 衛生的で安全な生活環境が保たれる		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 補助金交付件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ 施設管理者新規登録件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ 広報誌掲載回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 施設管理者登録件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 水質基準達成率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 苦情相談対応に対する満足度</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ 生活環境が維持又は改善されていると感じる市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 補助金交付件数	件	イ 施設管理者新規登録件数	件	ウ 広報誌掲載回数	回	対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 施設管理者登録件数	件	イ		ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 水質基準達成率	%	イ		ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 苦情相談対応に対する満足度	%	イ 生活環境が維持又は改善されていると感じる市民の割合	%	ウ	
名称	単位																																								
ア 補助金交付件数	件																																								
イ 施設管理者新規登録件数	件																																								
ウ 広報誌掲載回数	回																																								
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 施設管理者登録件数	件																																								
イ																																									
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 水質基準達成率	%																																								
イ																																									
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 苦情相談対応に対する満足度	%																																								
イ 生活環境が維持又は改善されていると感じる市民の割合	%																																								
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)				
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円			155			
		一般財源	千円	81	100				
		事業費計(A)	千円	81	100	155			
活動指標	ア	件	54	67	100				
	イ	件	8	10	33				
	ウ	回	1	1	1				
対象指標	ア	件	54	97	80				
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%	83	91	91				
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	75	78	84				
	イ	%	72	80	79				
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
水道法の適用外となる施設の衛生状況を確保するため、平成8年から旧国分市において実施し、合併を機に市内全域を対象とした。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
本事業が開始されて以後、水道法は改正されたが、簡易給水施設は同法適用外のままである。登録者については、合併したこともあり件数が増加した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
水質を定期的に検査することにより安心して安全な簡易水道を飲料する事が出来る。今後も行政サービスを継続して行っていただきたい。	

事務事業名	簡易給水施設水質検査支援事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	飲料水の衛生状況の確保と、住民の飲料水に関する衛生意識の向上が目的なので、政策体系の生活環境の向上に結びつく。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	簡易給水施設の水質検査を支援することで、簡易給水施設の衛生状況に関する住民の意識の向上が図られ、自主的な水質検査が行われるため公共関与は妥当である。	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象は霧島市内にある簡易給水施設を管理する登録者であり、妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	20年度実績、簡易給水施設登録者数97世帯の内、水質検査申込世帯67世帯となっていることから各世帯様々な理由等により未検査世帯はあるが徐々に依頼件数は増加の傾向をたどっている。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	簡易給水施設の利用者の衛生上の安全を確保する為には、適切な簡易給水施設の管理が求められているが、管理を義務付けられている簡易給水施設の設置者は、必ずしも水質の管理に関して専門的な経験を有しない為、外部の専門機関等が管理の検査を行う必要性が生ずる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	上水道未普及地域は山間部等の布設状況の悪い地域に多く残され有害物質や細菌等に対しても安心安全な飲用水を供給することは行政の責務であり安定した住みよい生活を維持する為、他に手段がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	入札後、落札業者に採水容器を取りまとめて検査依頼し、かつ、簡易給水施設管理者にも検査費を半額負担を強いる為、事業費自体負担が少なくてすむ。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	簡易給水施設等水質検査交付申請者のほとんどが既に入金先を登録されており、補助金支払い業務には支障をきたさない。また、新規登録者も申請時に確認する為、業務時間の削減余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	広報誌に掲載して希望者を募っており、特定の方々だけに受益機会を与えているわけではない。またチラシ回覧等で周知しても閲覧されるかは個人差があり費用対効果は望めないと思われる。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	昨年度、検査終了後にも検査の問い合わせが数件あった。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
<改革改善案> 次年度より申請締切日を広報に明記する。																							

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
特に無し

No.	320-100	事務事業名	狂犬病予防事業				所属部	生活環境部					
							所属課	環境衛生課					
政策体系	政策名	0	2	自然にやさしいまちづくり				課長名	今村 政憲				
	施策名	0	2	生活環境の向上				所属G(係)	環境保全グループ				
	基本事業名	0	1	環境衛生の向上				電話番号	64-0950				
予算科目	会計	一般	1	4	0	2	0	1	66015	事業名	狂犬病対策事業	法令根拠	狂犬病予防法、狂犬病予防法施行令、狂犬病予防法施行規則

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										事業期間	
<p>狂犬病予防法により、犬の飼い主には年に一回の狂犬病予防注射の受診が義務付けられている。この法令に基づき、霧島市では春と秋の年二回各地区で集合注射を実施している。集合注射会場では、狂犬病予防注射料(2450円)及び注射済交付手数料(550円)として3000円、また犬の新規登録の際には登録料として3000円を徴収している。この他に霧島市の窓口においても動物病院で受診された方に注射済票交付を行っている。以上の事業を通して、狂犬病の発生及び蔓延の防止に努めている。</p>										<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 12 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
手段(主な活動)									
20年度実績(20年度に行った主な活動)									
事務事業の概要に同じ。									
21年度計画(21年度に計画している主な活動)									
同上。									
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等									
霧島市で飼われている犬。									
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)									
狂犬病予防注射を行わせる。市報・ホームページまたは窓口での呼びかけ等により、予防注射受診を促すとともに狂犬病の蔓延を事前に防ぐ。									
結果(どんな結果に結び付けるのか)									
生活環境に関する問題が解決できる。 衛生的で安全な生活環境が保たれる。									
活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
名称									
単位									
ア 春・秋の集合注射実施日数									
日									
イ									
ウ									
対象指標(対象の大きさを表す指標)									
名称									
単位									
ア 犬の登録頭数									
頭									
イ									
ウ									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)									
名称									
単位									
ア 注射頭数									
頭									
イ 新規登録頭数									
頭									
ウ									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)									
名称									
単位									
ア 苦情相談対応に対する満足度									
%									
イ 生活環境が維持又は改善されていると感じる市民の割合									
%									
ウ									

(2) 総事業費・指標等の推移										
単位										
18年度(実績)										
19年度(実績)										
20年度(実績)										
21年度(見込)										
事業費	財源内訳	国庫支出金		千円						
		都道府県支出金		千円						
		地方債		千円						
		その他		千円	3,702	1,533	1,396	1,419		
		一般財源		千円						
		事業費計(A)		千円	3,702	1,533	1,396	1,419		
人件費	正規職員従事人数		人	7	7	7				
	延べ業務時間		時間							
	人件費計(B)		千円							
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,702	1,533	1,396	1,419				
活動指標		ア	日	41	42	38	38			
		イ								
		ウ								
対象指標		ア	頭	8,832	8,859	8,581	8,630			
		イ								
		ウ								
成果指標		ア	頭	7,060	7,104	7,064	7,100			
		イ	頭	735	762	698	708			
		ウ								
上位成果指標		ア	%	80	75	78	84			
		イ	%	72	72	80	79			
		ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等									
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?									
以前は鹿児島県が事業を実施していたが、法改正により平成12年以降、市で実施することになった。									
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?									
狂犬病予防法に基づいた予防注射の実施により、狂犬病の蔓延防止に努めているが、未登録犬の飼い主に対する実施内容の通知が現状として困難な状況にあり、予防注射を行っていない犬もいることが予想される。									
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?									
集合注射の日時や場所等、また注射接種時期に関する問い合わせがある。また、この他に犬の鳴き声、糞の放置等について住民からの相談が寄せられている。									

事務事業名	狂犬病予防事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 狂犬病の発生の予防により、公衆衛生の向上を図ることができる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 狂犬病予防注射の受診及び注射済票交付事務、新規登録事務は、狂犬病予防法に基づく義務的業務である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 法令上の義務的業務であると同時に、狂犬病の人への感染はその9割が犬からによるものであるため、犬に予防注射を行うことが最も適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 登録頭数及び注射頭数に大きな変化はないが、今後の啓発次第で成果向上の余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 登録率・注射率が低下することにより、狂犬病の発生が危惧され、その結果公衆衛生の低下を招く恐れがある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 類似する事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事務改善及び畜犬システムの導入等により、業務の簡素化及びコスト削減については実施している。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事務改善及び畜犬システムの導入等により、業務の簡素化及びコスト削減については実施しているが、更なる業務の細分化を図ることにより、部分的な業務委託等による業務時間の削減余地の可能性は考えられる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 犬の登録及び狂犬病予防注射は、犬の飼い主に対して一律に課せられる法的義務であるため、事業内容が一部の受益者に偏る事はなく、公平・公正性は保たれている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 犬の登録頭数及び注射頭数に大きな変化が見られない事から、成果は一定を保っていると見られる。注射受診率は例年約80%の実績を残しているが、狂犬病の蔓延防止の為に今後更なる注射受診率の向上に努めていく。																				
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 市報・ホームページ及び窓口での呼びかけ等による啓発活動また、未接種者への注射接種催促を行い、狂犬病予防注射受診の成果向上を図っていく。業務においては、一年を通じて恒常的に行われる窓口業務と特定期間で行われる集合注射業務を担当制にする等、現在一人でやっている業務を分担することにより、一人あたりが負担する業務時間の削減を図ることができると思われる。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持																					
低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					

No.	540-160	事務事業名	宮内原土地改良区管理費負担事務				所属部	農林水産部
							所属課	耕地課
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				課長名	馬場 義光
	施策名	0 2	生活環境の向上				所属G(係)	管理グループ
	基本事業名	0 1	環境衛生の向上				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名		
	一般	0 6	0 1	0 5	84090	農地費	法令根拠 なし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
宮内原用水路は、水田への用水給水、集中豪雨時の調整機能、防火用水等の役割、流域住民の排水路としての機能等を合わせて持っている。これらのうち、排水機能確保のために係る維持管理費の一部を負担している。 平成18年度 800千円 平成19年度 800千円 平成20年度 800千円 (宮内原用水路 総延長 20.29km)						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 元 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア	維持管理回数
			回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
(対象)周域住民		名称	
(交付先)準人町宮内原土地改良区		単位	
(対象活動)用水路の維持管理(泥あげ、草刈等)		ア	周域の自治会数
			団体
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
環境悪化が軽減される(悪臭等の改善)。		名称	
		単位	
		ア	苦情件数
			件
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
衛生的で安全な生活環境が保たれる。		名称	
		単位	
		ア	生活環境が維持又は改善されていると感じる市民の割合
			%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	800	800	800	800	
		事業費計(A)	千円	800	800	800	800	
トータルコスト(A)+(B)		千円	800	800	800	800		
活動指標		ア	回	128	128	128	128	
対象指標		ア	団体	57	57	57	57	
成果指標		ア	件	0	0	0	0	
上位成果指標		ア	%	72.3	71.6	80.3	78.6	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成元年頃から、流域住民の排水量が增大し、その用排水路の維持管理に多大な労力を費やすため、住民排水に係る経費の一部を負担することとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
農地と宅地の混住化が進み、生活污水等の増加により維持管理に苦慮している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	宮内原土地改良区管理費負担事務	所属部	農林水産部	所属課	耕地課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 用水路の維持管理を行うことにより悪臭等が抑えられ、周域の生活環境の向上につながるため、政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 本来市が担うべき市民の生活環境を守るための活動に対して、市が支援するのは妥当。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 用水路の維持管理を行うことにより、周域住民の生活環境が衛生的に保たれているため意図・対象は適切である。また当該用水路の管理は宮内原土地改良区が行っているため交付対象も適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 現状において適切に管理されており、衛生的な環境が維持されている。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 用水路の環境が悪化し、悪臭やゴミの堆積等の被害が起こる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 防火用水・生活排水対策事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 環境衛生課も生活雑排水の流入増大にともない負担金を歳出している。これまでの経緯を協議して、連携した対応が必要と思われる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 用水路の維持管理に必要な最小限の事業費である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 他事業との統合による削減は可能。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 直接的な受益は限定されるが、総じて市内における生活環境を維持させることになるため公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	環境・防火用水として利用されていることから負担金名目で支出が重複している。再協議を検討したい。																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 窓口の一本化を図ることによる支出額の改善。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 関係課との事業調整について、企画部等と協議を行い、予算化、事業の見直しを行う。																											

No.	110-010	事務事業名	花いっぱい運動推進事業				所属部	総務部			
							所属課	総務課			
			政策名	0	2	自然にやさしいまちづくり		課長名	宗像 成昭		
			施策名	0	2	生活環境の向上		所属G(係)	市民運動推進室		
政策体系	基本事業名		0	2	地域美化活動の促進		電話番号	45-5111			
	予算科目		会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	なし	
		一般	0	2	0	1	0	1	10010	市民運動推進費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
<p>くらしの中に花を育て、愛し、親しむことによって、優しい心を培いながら、美しい「花いっぱい」の霧島市をつくるため、花の苗の助成、花いっぱいコンクールの実施、市花の普及(花タバコの鉢植えの配布、学校への苗の配布)、花の育成講習会を行う。</p> <p>花いっぱい運動を推進する団体として登録の上、公園、学校、市道、集落内の公共施設の周辺部に花を植え、管理までを住民に行ってもらっている。</p>							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 45 年度 ~)	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
・花の苗の助成 ・花いっぱいコンクールの実施		ア	花の苗の助成本数
・花の育成講習会の実施			本
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	花いっぱいコンクール参加団体数
昨年度と同様。			団体
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		ウ	市花の苗、鉢植えの配布数
花いっぱい運動を推進する団体(自治公民館、老人クラブ、子ども会、企業等)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市内小・中学校		ア	花いっぱい運動を推進する団体の数
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		イ	市内小・中学校の数
公共の場(市道や公園、学校等)を花いっぱいの美しい状態に保つ活動を行う。		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
地域美化活動に取り組む。		ア	花いっぱい活動により植栽された学校の数
		イ	花いっぱい活動により植栽された公園の数
		ウ	花いっぱい運動により植栽された市道の数
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア	美化活動参加者数の割合(年に数回)
		イ	美化活動参加者数の割合(月に数回以上)
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			
		都道府県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	4,154	3,842	4,264
	事業費計(A)	千円	4,154	3,842	4,264	4,358
活動指標	ア	本	85,970	84,800	88,000	96,000
	イ	団体	40	50	55	60
	ウ	本	2,000	2,000	2,000	2,000
対象指標	ア	団体	200	200	200	210
	イ	校	46	46	46	46
	ウ					
成果指標	ア	校	46	46	46	46
	イ	園	20	30	33	35
	ウ	箇所	20	25	30	32
上位成果指標	ア	%	56.8	51.4	59.7	63.0
	イ	%	8.6	21.8	8.5	9.2
	ウ					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
市民がくらしの中に花を育て、愛し、親しむ気運を醸成するため、花いっぱいコンクールを昭和45年度から実施している。また、平成8年度からは市花の普及、平成14年度から花の育成講習会、平成16年度からは花の苗助成を実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
花いっぱいコンクールの参加団体及び市道や公園等に花を植えるボランティア団体が増加している。また、活動の場が公園、市道などの公共施設へと拡大したことに伴い、その目的が市民個人の活動から公共の場を市民が市と協働して管理するという現在の目的へと変化してきた。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
花の苗を助成するようになって多くの団体が、ボランティアで市道や公園に花を植えられるようになり、団体からは喜ばれている。	

事務事業名	花いっぱい運動推進事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	花いっばいを推進する団体のボランティア活動の支援として、花の苗の支給を行い、公共の場(市道や公園、学校等)を花いっばいの美しい状態に保つ活動を市民団体に行ってもらうことは、地域の特性を活かした美化活動を促進することに結びついている。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	本来市が管理すべき市道や公園等を花いっばいを推進する団体の力を活用し、地域の特性を活かした美化活動を促進することから、目的として妥当である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	花いっばい運動を推進する際に個人では活動の継続が困難であることから団体を対象とした。意図としては、より多くの市民が集うことから公共の場としており、妥当である。
成果の 向上 余地	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	花いっばいを推進するボランティア団体の数が増加することにより、より多くの市道や公園等が綺麗になることにより、その成果を向上させることができる。現在、各地域で推進団体の数にばらつきがある。全市的な事業となるには、広報活動や推進団体の掘り起こし等が必要である。学校に関しては、現状ではほぼ全ての小中学校で活動が展開されていることから向上の余地はない。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
類似 事業 との 統廃 合・ 連携 の 可能性	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	花いっばいを推進する団体が減少するとともに市道や公園等が花いっばいの美しい状態を保つことができなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 学校内は、学校が植栽を行っている。公園に関しては、一部ではあるが、市が管理者として植栽を実施しているところもある。
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 学校に関しては、植栽の一部に花いっばい運動があるという認識で取り組まれており、実質的には一本化した活動が展開されている。公園に関しては、独自に行っているのは一部であり、ほとんどの公園は本事業として植栽されている。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費のほぼ全てが花の苗などの購入費である。平米当たりの植栽する花の本数は決まっており、花の本数の削減はできない。また、花の苗の単価も市場価格の7割程度でありこれ以上の削減は難しいため、削減の余地がない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	申請業務、配布業務、報告処理業務等を行っており、市内の一箇所で配ると人件費の削減は可能だが、申請する団体は高齢者の団体が多く各総合支所単位での配布が必要であり、削減の余地はない。
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	直接の受益者は、花いっばいを推進する団体であるが、その花は公共の場に植栽されるため、受益者は広く市民と考えられる。また、市道や公園等に花を植える花いっばいを推進する団体への必要な数だけの花苗支給であり、肥料代、人件費等は参加団体が負担している。これらのことから、改めて受益者負担を求める必要はない。また、参加する団体への門戸は開いており、公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	各地域で推進団体の数にばらつきがある。全市的な事業となるには、広報活動や推進団体の掘り起こし等が必要である。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
花いっばいを推進する団体は、子ども会、企業等へ参加を呼びかけることで増やしていきたい。																						

No.	110-020	事務事業名	環境美化里親制度推進事業				所 属 部	総務部	
							所 属 課	総務課	
			政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり			課 長 名	宗像 成昭
			施策名	0 2	生活環境の向上			所 属 G (係)	市民運動推進室
		基本事業名	0 2	地域美化活動の促進			電 話 番 号	45-5111	

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	なし
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 市道・公園・河川等で自発的に清掃や花の植栽などの環境美化を行う市民団体等を「環境美化里親」として認定し、市民と行政が協力して快適で美しいまちづくりを推進するモデル事業を実施し、市全体に広げていく。 市道・公園・河川等の里親として認定した団体に対し、看板設置費用や消耗品代を委託経費として支給している。	事業期間	
	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		ア	環境美化里親数
			単位
			団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 昨年度と同様。		イ	看板の設置数
			単位
			箇所
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ボランティアを推進する市民団体		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	ボランティアを推進する市民団体
			単位
			団体
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 公共の場(市道や公園等)を環境美化里親制度を活用し、美しい状態に保つ活動を行う。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	環境美化里親制度により美化された公園の数
			単位
			箇所
		イ	環境美化里親制度により美化された市道の数
			単位
			箇所
結果(どんな結果に結び付けるのか) 地域美化活動に取り組む。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	美化活動参加者の割合(年に数回)
			単位
			%
		イ	美化活動参加者の割合(月に数回以上)
			単位
			%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)				
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
			都道府県支出金	千円						
			地方債	千円						
			その他	千円						
			一般財源	千円	20	20	20	130		
			事業費計(A)	千円	20	20	20	130		
活動指標		ア	団体	1	3	3	5			
			箇所	2	3	3	5			
対象指標		ア	団体	100	100	100	100			
成果指標		ア	箇所	1	2	2	5			
			箇所	0	0	0	5			
上位成果指標		ア	%	56.8	51.4	59.7	63.0			
			%	8.6	21.8	8.5	9.2			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 天降川河川敷公園について、野口老人クラブに管理をお願いしていたが、面積が広く西側河川敷地は管理できないとの申し出があり苦慮していたところ、野口の市民より環境美化里親制度なら引き受けて良いとの申し出があり、モデル的に環境美化里親制度の導入を図り管理を委託したものであり、平成17年度から開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 地域内の公共の場の清掃を行う団体や花いっぱい運動を行うボランティア団体が増加している。また、市民と市が協働した美しいまちづくりについて、市民意識が向上してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 地域の特性を活かした美化活動を促進するためには、現在の支援内容では不十分であるという意見がボランティア団体からあった。また、環境美化里親の団体から、団体役員は高齢者が多く、申込書の記入が難しいとの声がある。	

事務事業名	環境美化里親制度推進事業	所属部	総務部	所属課	総務課																										
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 市道・公園・河川等で自発的に環境美化を行う市民団体を環境美化里親として認定し、市民と行政が協力して快適で美しいまちづくりを推進することにより、市道・公園・河川等の愛護意識が高まり、地域の特性を活かした美化活動が促進される。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市が管理すべき市道、公園や河川等の環境美化を行う市民団体を里親として認定し、その団体の力を活用し、地域の特性を活かした美化活動を促進することから、目的として妥当である。																													
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 現在はモデル事業として限定して推進しているが、環境美化里親を希望する団体が増えれば望ましいところである。意図としては、多くの市民が集まる公共の場を美しく保つものとしており、妥当である。																													
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 制度を活用し公共の場を清掃する団体が増えることによって、成果を向上させることができる。現在はモデル事業として取り組んでおり、全市的な活動となるには、市民の制度への理解や市道・公園等を管理する関係機関との調整が必要である。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 市道・公園・河川等を自発的に環境美化を行う市民団体が減少し、市道や公園の愛護意識が薄れ、美しい状態を保つことができなくなる。																													
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ <input checked="" type="checkbox"/> しみん学習支援公社が管理委託している公園や網掛川清掃管理委託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 上記については、公園や河川等を補助金や委託などを活用し管理しており、これらを環境美化里親制度で包括できる余地がある。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																													
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 市民と行政が協働して、市道・公園・河川等の美化活動を推進するためには、看板設置費用や消耗品代など、ある程度の市の負担が必要であり、削減の余地はない。																													
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 申請業務と委託経費の申請が主な業務である。モデル事業であるため件数が少ないので、現状ではほとんど業務時間がかかっていない。																													
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 現在はモデル事業として取り組んでいるが、公共の場で美化活動をしており、美化活動の恩恵は広く市民が受けるものである。また、公共の場の美化活動であり、受益者負担を求める必要はない。したがって、受益機会、費用負担とも公平・公正である。																													
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		近年多くの自治体に取り組んできている事業である。本市ではモデル的に実施しており、地域の特性を活かした美化活動に必要なものと考えている。全市的に取り組める制度と体制の整備が必要である。また、類似事業との統廃合や連携も検討する余地がある。																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<改革改善案> 市が行っている様々な事業との連携、災害保険について、必要経費の割合など、制度の改善を行う。				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市内の市道、公園や河川等を環境美化里親制度により美化活動を推進することは、地域の特性を活かした美化活動を促進するため必要であり、市が行っている様々な事業との連携を図る必要があるが、全て把握されていない。また、災害保険や必要経費の割合など制度の充実が必要であり、この事業をどの様な形で促進するのか、関係部署と協議していく必要がある。																															

No.	110-030	事務事業名	地域のボランティア活動の推進事業				所属部	総務部		
							所属課	総務課		
政策体系	政策名	0	2	自然にやさしいまちづくり			課長名	宗像 成昭		
	施策名	0	2	生活環境の向上			所属G(係)	市民運動推進室		
	基本事業名	0	2	地域美化活動の促進			電話番号	45-5111		
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠			
	一般	0	2	0	1	0	1	10010	市民運動推進経費	なし

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
全国老人クラブ連合会が設定した「社会奉仕の日」と青少年育成の日に合わせ、市民総ぐるみでボランティア活動を行う。具体的には、9月の第2土曜日を中心に、地区自治公民館を主体に老・壮・青のふれあいのもとに、地域の実情に応じて、清掃活動(地域内の道路・河川・公共施設・自治公民館・墓地・神社)や独居老人訪問などを実施してもらっている。 活動を行った自治公民館には、事業費の助成を行っている。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
						<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 61 年度 ~)	
						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア	参加地区自治公民館数
			公民館
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	参加人数
昨年度と同様		ウ	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
地区自治公民館及び市民		名称	
		単位	
		ア	地区自治公民館数
		イ	人口
		ウ	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
公共の場(市道や公園等)を清掃し、まちを美しい状態に保つ活動を行う。		名称	
		単位	
		ア	参加した地区自治公民館の割合
		イ	参加した市民の割合
		ウ	%
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
地域美化活動に取り組む。		名称	
		単位	
		ア	美化活動参加者の割合(年に数回)
		イ	美化活動参加者の割合(月に数回以上)
		ウ	%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	410	650	600	900	
	事業費計(A)	千円	410	650	600	900		
活動指標		ア 公民館	41	65	60	70		
		イ 人	9,374	14,424	13,009	13,000		
		ウ						
対象指標		ア 公民館	90	90	90	90		
		イ 人	127,615	127,773	127,450	128,383		
		ウ						
成果指標		ア %	45.56	72.22	66.67	77.78		
		イ %	7.35	11.29	10.21	10.13		
		ウ						
上位成果指標		ア %	56.8	51.4	59.7	63.0		
		イ %	8.6	21.8	8.5	9.2		
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
全国老人クラブ連合会が設定した「社会奉仕の日」と青少年育成の日と合わせ市民総ぐるみでボランティア活動を行うため、昭和61年度から旧国分市で開始された。新市においても市民総ぐるみのボランティア活動として推進をしている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
清掃活動等への市民の参加意欲は高くなり、ボランティア活動への参加者は増加している。新市となり、自治公民館の参加も増加しており、公共の場を清掃しようという気運が高まっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
9月は敬老の日や体育祭など行事が重なるため、日程を変更して欲しいと地区自治公民館長から要望がある。また、ふれあいボランティア活動なのに中高校生の参加が少ないとの意見が自治公民館からある。	

事務事業名	地域のボランティア活動の推進事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷			
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	地区自治公民館を中心とした市民総ぐるみでのボランティア活動により、公共の場を清掃し、まちを美しい状態に保つ活動を行ってもらうことは、地域の特性を活かした美化活動を促進することに結びついている。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷			
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	各地域ごとの清掃活動は多くの地域で行っているが、市内一斉清掃を行うことにより市民のボランティアへの参加意識の向上と一体感を生むこととなり、地域の特性を活かした美化活動を促進することから、目的として妥当である。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷			
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	市民総参加のふれあいボランティア活動として市内全域の清掃活動を推進するため、地区自治公民館を対象とした。意図としては、公共の場の清掃活動あり、妥当である。			
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷			
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	本事業は、合併により市内全域に広げたものである。市内全ての地区自治公民館が参加することにより、市民総参加のボランティア活動となるので、その成果を向上させることができる。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷			
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	市民のボランティア活動参加の機会が減り、地域の連携意識低下を招く。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷			
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	各地区自治公民館単位での清掃活動は頻繁に行われているが、市民のふれあい一斉清掃は、この事業だけである。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷			
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費は、各地区自治公民館への事業費助成経費である。すでに各地区自治公民館にも応分の負担してもらっており、これ以上の削減余地はない。			
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷			
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	各地区自治公民館からの計画書や報告書を基に支払い事務などを行うものであり、削減の余地はない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷			
事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?					
受益機会については、直接の受益者は公共の場の一斉清掃活動を実施した地区自治公民館であるが、その活動は公共の場の清掃であり、受益者は広く市民となるので公平である。また、費用負担については、各地区自治公民館にも応分の負担してもらっており、改めて受益者負担を求める必要はないと考える。					

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成18年度から全市に広げた事業であり、市内全地区自治公民館の参加にはいたっていないが、参加する地区自治公民館が増加してきており、総参加の事業として推進していく。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 市民総ぐるみでのボランティア活動を実現するため、全地区自治公民館の参加をお願いするとともに、学校や教育委員会との連携を図り、中学生・高校生の参加を促進する。また、開催の時期についても検討する。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

No.	320-010	事務事業名	環境美化・河川環境保全推進事業				所属部	生活環境部		
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				所属課	環境衛生課		
	施策名	0 2	生活環境の向上				課長名	今村 政憲		
	基本事業名	0 2	地域美化活動の促進				所属G(係)	環境保全G		
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠			
	一般	0	4	0	2	0	1	66090	環境衛生総務費	霧島市環境基本条例・霧島市生活環境美化条例・霧島市天降川等河川環境保全条例
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間			
「霧島市環境基本条例」、「霧島市生活環境美化条例」及び「霧島市天降川等河川環境保全条例」を適切に運用し、良好な生活環境や河川環境の保全を促進するための事業である。生活環境美化や天降川等の河川環境保全を推進するため、本市に居住する者の中から環境美化推進員と河川環境保全推進員を任命し、環境パトロールや生活環境美化・河川環境保全の推進に関する啓発活動等を行っていただく。さらに、良好な生活環境を実現するため、特に推進する必要がある地域を「環境美化モデル地区」に指定する。また、環境美化推進員等をはじめ、市民や事業者等に環境教育等を実施し、環境美化・環境保全に関する理解を深め、自発的な活動を行う意欲を高めるとともに、広報誌等でも環境に関する情報を提供し、市民等のモラル向上を図る。並行して、ばい捨て、不法投棄、犬のふんの放置等の違反行為を失くすよう、看板を配付したり、改善命令等を行う。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 20 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)
	環境美化推進員・河川環境保全推進員を任命し、環境パトロールや生活環境美化・河川環境保全の推進に関する啓発活動を行っていただいた。また、研修会等を通じて推進員等を環境教育し、環境保全・環境美化に関する意識の向上を図り、地域リーダーの育成に努めた。 「霧島市生活環境美化条例」、「霧島市天降川等河川環境保全条例」の認識度向上のための看板・ポスターを作成した。 「環境美化モデル地区」の指定・公示を行った。
	21年度計画(21年度に計画している主な活動)
	環境美化推進員・河川環境保全推進員に、環境パトロールや生活環境美化・河川環境保全の推進に関する啓発活動を行ってもらい、研修会等を通じて推進員等を環境教育し、地域リーダーの育成に努めるとともに、環境美化・環境保全に関する意識向上を図る。「環境美化モデル地区」の認定(7地区)を行う。
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	モラルの低下によるごみのばい捨てや犬のふんの放置、不法投棄等を防止し、市民等に環境美化・環境保全に関する意識を浸透させる。
結果(どんな結果に結び付けるのか)	地域美化活動に取り組む。

活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
名称	単位
ア 環境美化推進員等の研修会等の回数	回
イ 広報誌等への掲載回数	回
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標)	
名称	単位
ア 市民	人
イ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア 市域の自然環境への満足度	%
イ 身近な生活環境への満足度	%
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア 美化活動参加者数の割合(年に数回)	%
イ 美化活動参加者数の割合(月に数回以上)	%

(2) 総事業費・指標等の推移	単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円				2,493	
		一般財源	千円			1,900	507	
		事業費計(A)	千円			1,900	3,000	
		トータルコスト(A)+(B)	千円			#REF!	#REF!	
活動指標	ア	回			3	3		
	イ	回			4	4		
	ウ							
対象指標	ア	人			127,450	128,383		
	イ	#REF!						
	ウ							
成果指標	ア	%			60	60		
	イ	%			58	73		
	ウ							
上位成果指標	ア	%			60	63		
	イ	%			9	9		
	ウ	#REF!						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
霧島市は、日本最初の国立公園の一つである霧島連山や豊かな水系など、広大な美しい自然に恵まれているが、近年は、ごみの不法投棄、飼犬のふんの放置、空き地の管理の不徹底などの苦情が数多く寄せられている。これらの問題を解決し、自然と共生しながら良好な環境を保全・形成し、これらを将来の世代に引き継いでいくため、「霧島市環境基本条例」、「霧島市生活環境美化条例」及び「霧島市天降川等河川環境保全条例」を制定・施行した。平成20年度からは、それらを実現するために環境美化推進員等を任命し、地域の環境美化・環境保全活動に努めている。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
「霧島市環境基本条例」に基づき策定された「霧島市環境基本計画」は、「第一次霧島市総合計画」との整合を図り、平成20年度から平成29年度までの10年間を計画の期間としている。計画策定5年後に当たる中間年度において、平成24年度までの進行状況と、本市を取り巻く環境や社会状況の変化、科学技術の進展等を踏まえた計画の見直しを行うことから、事業内容は目標達成度により変化していくものと考えている。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
平成20年4月実施の市民アンケートにおいて、「2、3年前と比べて市域の自然環境や身近な生活環境についてどのように感じているか」の質問については、両方とも「変わらない」と答えた人が33.5%と43.3%で最も多く、特に生活環境の変化に対する評価は、「良くなっている」の28.3%が「悪くなっている」の18.3%よりも多いことから若干良いと言えるが、「環境に関する様々なルール(条例)や計画を知っているかについて」の質問では、全体としては、約6割が無回答で、あまり知られていない結果となっている。

事務事業名	環境美化・河川環境保全推進事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課																										
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	見直し余地がある【理由】 ↘	結びついている【理由】 ↘																												
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	良好な生活環境の実現及び河川環境の保全が図られていることは、「自然にやさしいまちづくり」の自然環境の保全や生活環境の向上に結びつく。																													
	公共関与の妥当性	見直し余地がある【理由】 ↘	妥当である【理由】 ↘																												
なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	「霧島市環境基本条例」等で市の責務として、市域の自然的社会条件に応じた環境の保全及び形成に関する総合的かつ計画的な施策を制定し、これを実施する責務を有するとあるので、妥当である。																														
対象・意図の妥当性	見直し余地がある【理由】 ↘	適切である【理由】 ↘																													
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	良好な生活環境の実現及び河川環境の保全が図られるためには、市民や市内の事業者の美化に関する環境保全意識啓発により、モラルの向上や清掃活動への協力等が必要である。																														
有効性 評価	成果の向上余地	向上余地がある【理由】 ↘	向上余地がない【理由】 ↘																												
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	環境美化・河川環境保全推進員に対し、環境保全意識向上のための環境学習の充実を図ることで市推進員の資質を高めるとともに、市民への啓発活動につなげていく。																													
	廃止・休止の成果への影響	影響無【理由】 ↘	影響有【その内容】 ↘																												
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	環境美化・河川環境保全推進事業を廃止・休止することにより、地域における環境美化活動の機会が減少し、環境保全・環境美化に関する市民のモラルの低下や地域環境の悪化が懸念される。																														
類似事業との統廃合・連携の可能性	他 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 錦江湾クリーンアップ事業、地域まちづくり支援事業、地域のボランティア活動の推進事業など 統廃合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/>																														
目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	地域の環境美化活動に関する分野は、総務課や企画政策課・共生協働推進課と連携し、公民館長や教員等に対して環境保全・環境美化に関する研修会や講座を行い、地域リーダーとしての育成を図る分野は、本課のこどもエコクラブ事業や共生協働推進課、教育委員会と連携して行う。																														
	他に手段がない【理由】 ↘																														
効率性 評価	事業費の削減余地	削減余地がある【理由】 ↘	削減余地がない【理由】 ↘																												
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	環境美化・河川環境保全推進員の配置は、「霧島市生活環境美化条例」・「霧島市天降川等河川環境保全条例」に基づくものであり、エリアとしても小学校区以上に範囲を拡げた場合成果が上がりにくいと考えられることから削減の余地がない。																													
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	削減余地がある【理由】 ↘	削減余地がない【理由】 ↘																												
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	現在、環境美化推進員と河川環境保全推進員を兼務していただいている状態で、既に人数の削減を図っているため。																														
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	見直し余地がある【理由】 ↘	公平・公正である【理由】 ↘																												
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	霧島市の良好な環境の保全と形成を図り、これを将来の世代に引き継ぐことは、市をはじめ、市民や市内の事業者の責務として条例で規定している。																													
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性	適切	見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 環境美化・河川環境保全推進員を通じた環境美化活動が定期的に行われ、 <input checked="" type="checkbox"/> 地、「環境美化モデル地区」の指定も行われ、環境美化に関する活動方針が整った。 <input checked="" type="checkbox"/> 今後は地域の美化推進員と市民が協力し、美化活動の輪を全市域に広げる必要がある。																												
有効性	適切	見直し余地あり																													
効率性	適切	見直し余地あり																													
公平性	適切	見直し余地あり																													
(3) 今後の事業		方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
廃止	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(有効性改善)	現状維持																												
目的再設定	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(効率性改善)	(従来通りで特に改革改善をしない)																												
事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(公平性改善)																													
<改革改善案>		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
<改革改善案> 地域の環境美化活動に関する分野は、総務課や企画政策課・共生協働推進課と連携し、公民館長や教員等に対して環境保全・環境美化に関する研修会や講座を行い、地域リーダーとしての育成を図る分野は、本課のこどもエコクラブ事業や共生協働推進課、教育委員会と連携して行う。																															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 関係課等の連携の具体化。																															